

事務事業名	伝統人形芝居振興事業				会計	一般会計					
H27担当課等名	文化会館	H27係等名	人形劇のまちづくり係		事業種別	政策	開始	S59	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり								
	施策	63	地域資産の保存・継承								
目的	対象(誰・何を)	①今天人形座及び黒天人形座 ②人形座が保存されている地元中学生(竜峡中、高陵中)				対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①人形浄瑠璃を上演できるようにする。②技術を学び継承する。					①座数				2
	向上させたい上位施策の成果指標	地域資産を保存・継承していく人数					②地元中学生(竜峡中、高陵中)数				680
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	①上演回数			20	18	20	20			
	成果指標	②人形浄瑠璃を学ぶ中学生の数			45	51	45	45			
定性目標											
事業概要	<p>今天人形、黒天人形の伝統人形浄瑠璃を保存伝承するために、それぞれの保存会が行う研修活動、後継者育成を目的とする地元中学校への指導活動を支援する。</p> <p>また、今天人形、黒天人形に加え、早稲天人形(阿南町)、古天人形(箕輪町)の伊那谷4座が協同して研修や公演を行うため「伊那人形芝居保存協議会」の活動を支援する。</p> <p>飯田市が伊那人形芝居保存協議会の事務局となるのは、H25～28の4年間</p>										
事業内容					名称			活動指標			
26年度事業内容	1 後継者育成の取り組み (1)高陵中学校(黒天人形)、竜峡中学校(今天人形)への指導(謝礼の支出)				1	(1)指導回数		1 (1)75日			
	2 上演・稽古等の施設の管理 (1)地元の管理運営委員会へ指定管理(委託料の支出)				2	(1)管理施設数		2 (1)2施設			
	3 伊那人形芝居保存協議会の合同研修 (1)義太夫、三味線、人形操りの研修を四座で実施(旅費・謝礼等の支出)				3	(1)研修回数		3 (1)8回			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		4,257	4,416	4,412	4,161	(国)国宝重要文化財等保存整備費補助金 (そ)地域伝承活動事業負担金(阿南町、箕輪町) ・(国)は、H24～27の補助金(H27最終年度)					
国庫支出金		1,000	1,000	1,000	1,000						
県支出金											
起債											
その他		500	500	500	500						
一般財源		2,757	2,916	2,912	2,661						
人件費計(千円)②		261		0							
正規職員所要時間		70									
臨時職員所要時間		10									
総事業費①+②		4,518	4,416	4,412	4,161						
事業内容・目標達成状況の振り返り	黒天人形、今天人形の座員が、他の座と連携しながら技術を磨き、公演や、後継者への指導を行うことによって伝統人形芝居を保存・継承できる体制をつくった。										
改革改善の考え方	①問題点	後継者の育成が課題である。									
	②改革提案	技術向上への支援を行い、上演活動、学習活動、PR活動を通じて啓発に取り組む。また、地元を始め「人形劇のまち運営協議会」や「いいだ人形劇センター」などと連携した活動の展開を支援していく。									